

2021/10/19 (火)

2021年10月 邦画鑑賞会実施報告

次ページの上映候補作品の中から、参加者の希望が多かった「二人で歩いた幾春秋」を上映した。12名（男7名、女5名）が参加した。

昭和21年、復員した義男は道路工夫として働き始めるが、妻・とら江と息子、そして両親を養う生活は厳しいものだった。翌年、とら江が誠実さを買われ土木出張所の小使いとして雇われる。

依然厳しい暮らしの中、2人は息子の健やかな成長を願い働き続け、息子の希望する大学教育を受けさせる物語だが、仕送りもままならぬ中、息子も苦勞しながら、京都大学を卒業できた。

アルバイトに明け暮れた4年時、卒業が一年延びる事態に、退学を覚悟し帰省した息子を苦しい経済情勢の中で、必死に大学に戻るよう説得する父の姿に参加者はみな感動し涙した。父親役の佐田啓二、母親役の高峰秀子が、貧しいながらもいい夫婦を演じた。いい映画だった。

吉岡 芳夫

二人で歩いた幾春秋

[再生 | U-NEXT \(unext.jp\)](#)

夫婦の心の結びつきを力強いモノクロの映像で表出させた感動年代記
| 1962年 再生(101分)



シェア

見どころ

同監督作品『喜びも悲しみも幾歳月』で夫婦を演じた**高峰秀子**と**佐田啓二**の名コンビが再び夫婦役で共演。息子の成長を喜び、幸せを願う親の気持ちが静かに伝わってくる。

ストーリー

昭和21年、復員した義男は道路工夫として働き始めるが、妻・とら江と息子、そして両親を養う生活は厳しいものだった。翌年、とら江が誠実さを買われ土木出張所の小使いとして雇われる。依然厳しい暮らしの中、2人は息子の健やかな成長を願い働き続けるが…。



夏美のホタル

廣木隆一監督が描き出す、人との絆。
心あたたまるヒューマンドラマ
2016年 再生(108分)

見どころ

美しい風景や、受け継がれていく“思い”が心にしみる。将来に不安を抱えたヒロインを有村架純が好演。廣木監督と有村のタッグは「ストロボ・エッジ」に続き2作目である。

ストーリー

写真家になる将来の夢を追いかけながらもやり場のない焦燥感を抱える夏美。恋人・慎吾との関係もうまくいっていない彼女は、父親の形見のバイクで思い出の森に向かう。そこで小さな商店を営む恵三とヤスばあさんと出会い、夏美はその家に居候することに…。

告白

再生 | U-NEXT (unext.jp)

×

告白

本屋大賞受賞作を映画化。女性教師の衝撃的「告白」から始まる学園サスペンス

★★★★★ | 2010年

見放題

再生 (106分)

+ マイリスト ☆ 作品を評価 < シェア

本屋大賞受賞作を映画化。女性教師の衝撃的「告白」から始まる学園サスペンス | 2010年 再生(106分)

見どころ

湊かなえのベストセラー小説を映画化。少年犯罪や報復といった過激な題材、独特のストーリー&画面構成、そして緊迫感あふれるタッチは、鬼才・中島哲也監督ならでは。

ストーリー

ある中学校で、1年B組の担任・森口悠子は生徒に語り始める。自分の娘が学校で死亡したのは警察が断定した事故死ではなく、この組の生徒に殺されたのだと。そして自らの手で仕返しをすると宣言して学校を辞め、後任で熱血教師“ウェルテル”がやってくる…。

ここがポイント！

その過激な内容から賛否両論を呼んだが、日本アカデミー賞で最優秀作品賞をはじめ4冠を受賞した。

松本清張 張込み

[再生 | U-NEXT \(unext.jp\)](https://unext.jp)

松本清張の同名小説を映画化。凶悪犯を追う刑事をドキュメンタリータッチで描く 1958年 再生(115分)



松本清張 張込み

松本清張の同名小説を映画化。凶悪犯を追う刑事をドキュメンタリータッチで描く

★★★★★ | 1958年

見放題

▶ 再生 (115分)

+
マイリスト

☆
作品を評価

↻
シェア

見どころ

野村芳太郎監督が、緊迫した**張り込みシーン**を徹底したリアリズムで活写。脚本は黒澤明の一時代を支えた大御所・橋本忍。高峰秀子が元恋人に会って艶めく人妻を演じている。

ストーリー

警視庁捜査第一課の下岡と柚木は、質屋殺しの共犯・石井を追って佐賀行き列車に飛び乗る。石井は、3年前上京の時に別れた女・さだ子に会いたがっていたのだ。2人は、今では人妻となったもの静かな女・さだ子を見張るため、猛暑の中で張り込みを続ける。

緋牡丹博徒

[再生 | U-NEXT \(unext.jp\)](https://unext.jp)

日本映画史に燦然と輝くヒロインが誕生！藤純子の代名詞となった任侠シリーズ第1弾 | 1968年 再生(98分)

見どころ

「人生劇場 飛車角」「日本侠客伝」などと並んで**東映任侠路線を支えた大人気シリーズの第1弾**。当時22歳の藤純子が凛々しい女侠客を演じ、多くの観客を魅了した。

ストーリー

博徒・矢野組の組長だった父の仇を討つため、女博徒となって旅を続ける竜子。“緋牡丹のお竜”の異名を取る彼女は、あるいざこざに巻き込まれたところを片桐という博徒に助けられ、彼に惹かれていく。しかし、片桐の弟分・加倉井は父を闇討ちした犯人で…。

